

【日本の大学】第70回——関西大学：「学理と実際との調和」掲げる総合大学

関西大学は1886年に、大阪西区京町堀の願宗寺に設立された関西法律学校が前身であり、130年以上の歴史がある。関西法律学校は、当時の大阪控訴院長の児島惟謙の支援を得て、フランス人法学者（パリ大学教授）ボアソナード博士の教えを受けた現職の裁判官、検察官などによって設立された。

現在は、13の学部、大学院、法科大学院、会計専門職大学院、留学生別科を擁する私立の総合大学となっている。学是（理念）としては「学理と実際との調和」を意味する「学の実化（がくのじつげ）」を掲げている。



第3学舎

関西の司法官らが設立

以下、関西大学のホームページなどから、大学の歩みと現況を見ていこう。

法律学校は、井上操、小倉久、堀田正忠らの司法官と自由民権運動家の吉田一

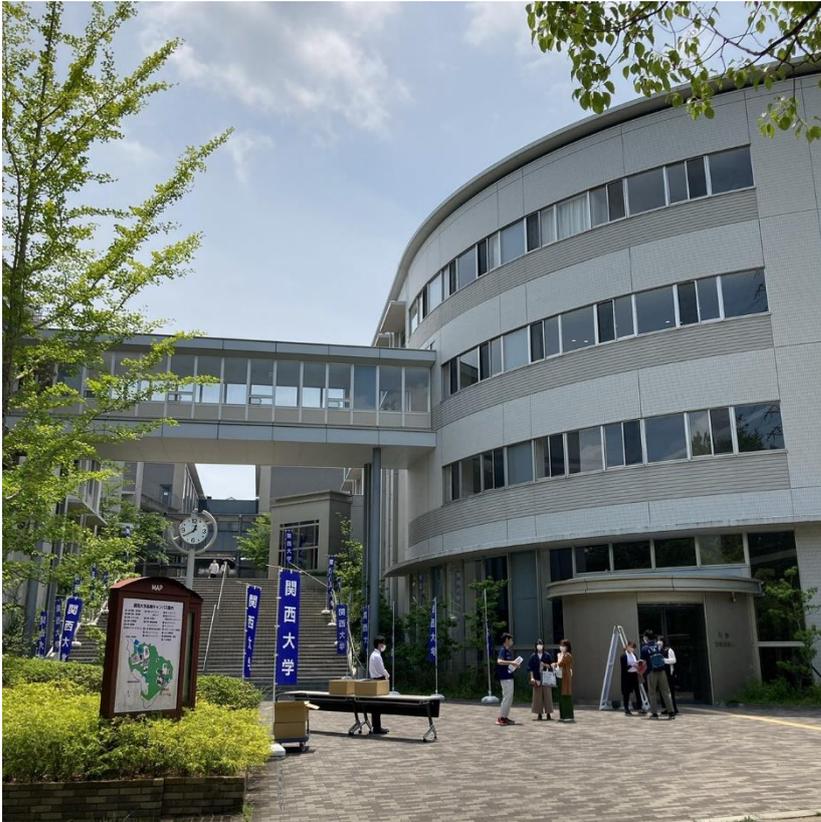
士の連携によって設立にこぎ着けた。児島惟謙（のちに大審院長や貴族院議員、衆議院議員を歴任）は、名誉校員として創立に参画し、監督的な役割を果たした。

その後、何度か移転や校舎を新築する間に、経済学科を増設（1904年）、「私立関西大学」と改組・改称（1905年）や商業学科を増設（1906年）など、大学の基礎が築かれていった。

1922年には、大学令によって関西大学として認可され、法学部、商学部、大学予科を設置、同時に千里山に学舎を新設した。

第2次大戦後の1948年には、全国の大学に先駆けて新制大学に転換した。法学部、文学部、経済学部、商学部の4学部（第1部・第2部）でのスタートだった。第一中学校、附属第一高等学校、幼稚園なども開校・開園している。

その後、1958年に工学部を、67年に社会学部を開設している。この間、経済・政治研究所、工業技術研究所などの研究所の開設や、大学院の研究科を次々に設置するなど総合大学への歩みが続いた。1980～90年代にかけても、学舎の新設や新学部、併設校を設置している。法学研究所の開設（1987年）、国際交流センターの開設（1989年）、高槻キャンパスの開設と総合情報学部の設置（1994年）などである。



高槻キャンパス

大学創設以来の学部である法学部は法曹分野に進む学生だけでなく、ビジネスに関する法律、思想や歴史、公共政策、国際関係、政治学まで多分野にわたる数多くの科目を開講しており、卒業後、広い分野での活躍に対応したカリキュラムを導入している。学科制やコース制を廃止し、初年次には全学生を対象に導入演習、基幹科目の学習を実施している。2年次に向けては情報提供や履修ガイダンスを行っている。

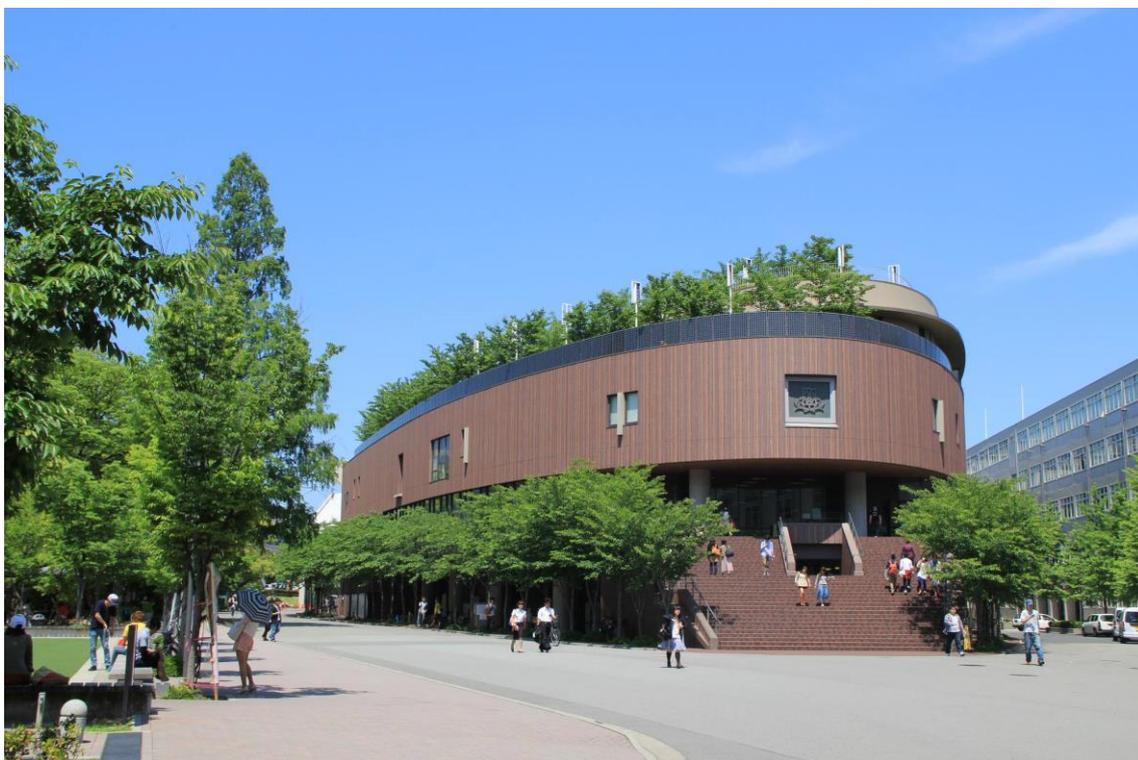
文学部は、言語と文学、思想と文化、歴史と地理、教育と心理といった多様な切り口から、「人文学」という深い知の森に分け入り、新しい時代を切り拓いて、新しい価値を創造できる人材を育てることを目指す。新入生全員が総合人文学科に在籍して、入門講義、入門ゼミを受講、自分に向いている専門分野は何なのかをじっくり見定める。2年次以降は16の専修の中から希望の専修を決めて、専門性に磨きをかけていく。「幅広い教養」と「深い専門性」を身につけた上で、ゼミの指導教官のアドバイスを受けながら、4年間の学習の集大成として約2万字の卒業論文を執筆する。

経済学部も、1年次は比較的身近な教養科目、語学・専門科目をバランスよく履修・修得したあと、専門科目を深く学んでいく授業体系を取っている。3年次以降からは、各自の興味・関心に応じて四つのコース（経済政策、産業・企業経済、歴史・思想、国際経済）が用意されている。

商学部は「品格ある柔軟なビジネスリーダーの育成」を理念として掲げ、110年を超える歴史を誇っている。1年次には共通教養科目と外国語科目を履修したあと、流通、ファイナンス、国際ビジネス、マネジメント、会計という五つの専修の中から一つを選んで学びを深める。

社会学部は、社会学、心理学、メディア、社会システムデザインという四つの専攻が設けられている。それぞれに学習の柱となる少人数クラスが置かれており、専任教員が入学から卒業までしっかりサポートしながら専門性を高めていく。自分が属していない専修科目も学べる仕組みを取っている。

総合情報学部は、情報をキーワードとして文系／理系という枠組みにとらわれず、人文・社会・自然科学の3分野を横断的に学べるユニークな学部である。「メディア情報系」「社会情報システム系」「コンピューティング系」という三つの系から、自分の未来ビジョンに合わせて科目を選択する。



新学部を続々立ち上げ

大学では、21世紀に入って新たな学部を次々に設置した。2007年には政策創造学部を、また、工学部をシステム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部の3学部に分割・改組した。2000年に設置されていた外国語教育研究機構は、09年に改組して外国語学部となった。さらに2010年には高槻ミュージズキャンパスと堺キャンパスを開設するに伴い、社会安全学部と人間健康学部を設置している。



高槻ミュージズキャンパス全体図

政策創造学部は、国際関係、政治、経済、経営戦略、法律、地域文化など多様な領域を横断的に学ぶことによって、現代社会の諸問題を発見する力、解決する方法を見いだす力、及び、それを実行・実現する力を養うことを目的に設立された。政策学科、国際アジア学科の2学科で構成し、「政策」をキーワードに、多様な学問分野や実践を通じて社会で起きていることを理解し、変化の方向を展

望していく。

外国語学部では、入学時に主専攻言語として英語または中国語のいずれか一つを選択する。少人数クラスで、言語運用能力を徹底的に伸ばす。加えて、プラスワン外国語・副専攻言語の卓越した運用能力を育成していく。2年次にはすべての学生が主専攻言語に基づき、海外の提携大学へ約1年間の留学をし、言語や専門知識の習得と、寮生活やホームステイを通じて、その国の文化や歴史、考え方、生活習慣を体験する。3、4年次には、「言語コミュニケーション教育」「言語分析」「地域言語文化」「異文化コミュニケーション」「通訳翻訳」という五つの履修プログラムを通じて「外国語のプロフェッショナル」を目指す。

工学部からは三つの理工系学部が誕生した。システム理工学部は、「しくみづくり」を基幹コンセプトに、「科学技術システムにおける高機能で安全なしくみの創造」を基本理念として、主としてハード面から、産業技術システムの構築、創成、改良、維持管理に関わる人材の育成を進める。「数学科」「物理・応用物理学科」「機械工学科」「電気電子情報工学科」の4学科で構成している。

環境都市工学部は、都市産業社会における住民生活と生産活動が共生する安全・安心かつ環境に配慮した「まち」空間の創生と再生に関する科学技術の知識と豊かな創造性を備えた人材の育成を目的としている。「建築学科」「都市システム工学科」「エネルギー・環境工学科」の3学科からなる。

化学生命工学部は、化学・生命・マテリアルをキーワードに、21世紀の「ものづくり」と「先端技術」の発展に貢献できる人材を育てるのが目的である。ナノテクノロジー、バイテクノロジー、エネルギー、環境医療をはじめとして幅広い分野が教育・研究対象となっている。「化学・物質工学科」「生命・生物工学科」の2学科からなっている。

社会安全学部は「安全・安心」というレンズを通して、社会や人間、自然を洞察し、そこにある問題を解決することで、自然災害・社会災害の最小化を目指す。具体的には、法学、政治学、経済学、経営学、心理学、社会学、理学、情報学、工学、社会医学など多様な学問分野による教育を展開し、これら既存の学問を総合して問題解決能力を養う。

人間健康学部は、「こころ」「からだ」「くらし」を総合的に捉え、人間の幸福を実現するための健康にかかわる諸問題の解決方法を探究する。1年次では全員

が学部独自の体験学習メソッドを通して、自分とは違った考えや感じ方の人と関わりながら、互いに支え合う体験を積む。2年次以降は「スポーツと健康コース」「福祉と健康コース」の2コースで、それぞれの専門的な学びを深めていく。

以上 13 学部に対応して大学では 15 の研究科（法科大学院、会計専門職大学院を含む）を設けている。



博物館

国際化構想の一環、別科を開く

また、これらとは別に、新たな国際化構想の一環として 2012 年には大阪・南千里の国際プラザを開設し、留学生別科を設置している。同別科は、関西大学の学部・大学院や日本国内の大学・大学院に進学を希望する外国人に対して、日本語・日本事情・日本文化などを教授することを目的にしている。大学・大学院で通用する言語運用能力や思考力を身につけるのが狙い。

大学の本部があるのが千里山キャンパス（吹田市山手町）である。総面積 35 万平米の広大な敷地、大阪中心部からの交通の便の良い立地に、法・文・経・商・社会・外国語・システム理工・環境都市工・化学生命工の 9 学部と、各大学院の

学生が学んでいる。高槻キャンパスは、大阪と京都の中間に位置する丘陵地にある。広さ 45 万平米の敷地に総合情報学部があるほか、全学的な施設としてセミナーハウス「高岳館」があり、研修や合宿に利用されている。

高槻駅前にあるのが高槻ミュージズキャンパスである。2010 年に開設され、社会安全学部、同大学院のほか、小中高校が併設されている。大阪南部の堺市にあるのが境キャンパスである。2010 年に開設され、人間健康学部が設置された。このほか、大学の都市型拠点として大阪梅田駅の近くに梅田キャンパスがある。



梅田キャンパス

学部の学生は 27852（うち女性 11593）名、大学院は 1679（うち女性 572）名、専門職大学院は 218（女性 78）名、留学生別科は 91（女性 46）名で合計 29840（女性 12289）名である。教員数は専任教育職員が 801 名、非常勤教育職員が 1464 名である。（いずれも 2022 年 5 月現在）



入学式

学長は前田裕氏である。大阪府立大学工学部卒、同大学院修士課程修了、工学博士。関西大学には1988年に工学部助手として入り、専任講師、助教授、教授。システム理工学部の教授、同学部長などを経て、2012年から副学長、2020年から現職。専攻は制御理論、コンピューテーショナルインテリジェンス。

文：滝川 進

写真：関西大学 Facebook